

赤れんが通信



第 62号

令和元年 12月 10日

編集発行人 国際交流員 金昭賢

北海道は他の地域より早く冬を迎えます。朝起きたら「雪が積もっているのかな…」ドキドキしながらカーテンを開けてみるのが最近の楽しみの一つですが、寒さの中にも落ちることなく必死に耐えている紅葉を見たら、過ぎ去る季節を惜しむ秋の切なさも感じられるようです。季節が変わるここ2か月間のニュースをお伝え致します！

インターナショナルウィーク2019開催 (SEOUL DAY)

ミルメ選手団…エクストリームテコンドー公演を披露

インターナショナルウィークをご存知ですか？

これは、色んな国を市民に紹介するグローバルイベントです。今年も、11月20日から3日間、札幌チ・カ・ホにて「インターナショナルウィーク2019」が開催されました。

会場の中央に設けられた韓国紹介ブースでは、ソウル特別市庁からご提供いただいたガイドブックや観光地図などを配布しました。

インターナショナルウィークのメインは、何と言ってもイベントに参加した国々の特色のあるパフォーマンスですが、韓国は今年迫力溢れる「エクストリームテコンドー」を披露し、多くの方々の注目を引きました。

エクストリームテコンドーを通じて韓国の国技である「テコンドー」を世界に紹介し、韓国の魅力を発信しているミルメテコンドーチームが今回の行事のために北海道を訪問しました。



ミルメ選手団は、インターナショナルウィーク本公演を控えた20日の午前札幌市所在の北海道武蔵女子短期大学を訪問し、テコンドー体験授業及びエクストリームテコンドー公演を行いました。

5人の選手それぞれの個性と情熱が溢れる指導を受けながら、学生たちは楽しく体をほぐし、テコンドーの基本的な動作を練習した後、最後に板割りを見事に成功させました！

テコンドー体験授業が終わった後は、記念品として配布したエコバッグに選手たちのサインをもらったり、一緒に記念写真を撮ろうとする学生たちが行列を作り、ミルメテコンドーチームはアイドル並みの人気を享受しました。

一方、20日の午後、インターナショナルウィーク会場では韓国伝統飲料である「シッケ」試飲及びエクストリームテコンドー公演とともに、ソウルDayを迎え、金昭賢国際交流員がソウルの魅力を紹介するセミナーも行いました。

立命館慶祥中学校訪問

11月5日、立命館慶祥中学校にて「韓国語講義」を行いました。韓国に訪問する予定の生徒たちに、現地で使える挨拶や自己紹介、日常会話などを紹介しました。短い時間でしたが、韓国語学習に熱心な生徒たちの情熱が伝わりました。



济州国際青少年フォーラム 参加者インタビュー

济州国際青少年フォーラムに派遣された人材たちが無事帰国しました。济州島での様々な経験を通じて、以前より少し成長したような気がすると言いながら、思い出を語ってくれました。



1. 「みかんが有名な地域」ということは知っていたが、思った以上、道中にみかんが溢れるところだった。2. 意外と日本のドラマが好きな韓国の子が多くて、日本の文化に興味があるという共通点を見つけることができた。3. 最後の夜が一番印象的。友達と自分の国の文化について話し合い、お互いに外国の名前を付けてあげることもした。私には「ペ・ソダム」という韓国の名前ができた。(須貝梨麻)



1. 济州島はのどかな農村みたいなのところと、よく整備されている場所が共存する地域だった。2. 日本の大学入試の準備をしている韓国の子から、センター試験も「スヌン試験」みたいに難しいという話を聞いた。今まで、受験は韓国の方が大変だと知っていたので、意外だった。3. 発表準備の時、自らリーダーを務めて、チームを導いてくれた子がいた。そのようなリーダーシップを見習いたい。(堀田佳苗)



1. 自然が美しいところだが、開発によって破壊されている部分もあるという話を聞いて、济州島は北海道と似ていると思った。2. 韓国の生徒たちは、私たちより勉強する時間が長い気がする。そして、男は20歳になったら入隊しなければならないそうだが、このようなことから考え方の違いを感じた。3. 文化に関する発表を聞いて、文化の寛容性について考えてみるきっかけになった。(藤田晃弘)

<Question>

1. 初めて行ってみた济州島の印象はどうでしたか？ 2. 韓国の生徒たちとの交流で見つけた両国の生徒たちの共通点、或いは違いは何ですか？ 3. 今回のフォーラムで一番印象に残ったことは何ですか？



第10回 济州国際青少年フォーラム(10.31~11.4) 参加者たちの活躍

韓国語会話講座

5週間、道庁の職員を対象に韓国語会話講座を行いました。初対面、食事会、飲み会などの色々な場面でよく使われる呼称や韓国語の表現、日常会話などを学習しながら、日本とは少し違う韓国の習慣や文化などについても触れてみました。



2019 济州映画祭 参加

2019年11月28日(木)~12月1日(日)、韓国济州特別自治道で開催された「2019济州映画祭」に、「ゆうぱり国際ファンタスティック映画祭」のプロデューサー2名が参加しました。

この映画祭は、島地域の固有性を尊重しながら、島地域の映画を発掘して互いに交流を深めネットワークを構築することを目的としており、このたび友好地域として北海道が招待を受けて参加したものです。

期間中は、济州で撮影された映画の鑑賞・撮影場所の視察を行ったり、プログラムの1つである「アイランドシネマフォーラム」において、ゆうぱり国際ファンタスティック映画祭の紹介を行うなど、济州の映画人と交流を深めました。

また閉幕式では、参加者を代表して祝辞を述べるとともに、レセプションにおいて、今後の両映画祭の交流促進について再確認するなど、映画を通して北海道と济州特別自治道との友好交流の活性化に繋がる大変有意義なものとなりました。

✓ 赤れんが通信
バックナンバー
韓国版はこちら



✓ 北海道観光
振興機構は
こちら



✓ 編集・発行 北海道 総合政策部 国際局 国際課
北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL : +81-11-231-4111 FAX : +81-11-232-4303

